

会議顛末書

							記録者	宮本 匠		
供覧	市長	副市長	部長	次長	課長	課長補佐	主係	査長	グループ員	
	/	/								
件名	令和7年度第1回龍ヶ崎市公共施設等マネジメント推進委員会									
年月日	令和7年7月23日(水)									
時間	午前10時から正午まで									
場所	龍ヶ崎市役所保健福祉棟3階 RINK コミュニティホールA									
出席者	<p>【公共施設等マネジメント推進委員会委員】 田島委員、河崎委員、鈴木(泰)委員、坂野委員、鬼沢委員、小高委員、矢口委員、吉野委員、下野委員</p> <p>【事務局】 大貫総務部長、仲村総務部次長 管財課 生井課長、清原課長補佐、海老原副主幹、宮本主事(記録者)</p> <p>【施設所管課】 市民窓口課 持田課長、木村所長</p>									
欠席者	三淵委員、鈴木(英)委員、吉田委員									
説明者	<p>【審議事項】 議題(1) 大貫部長 議題(2) 宮本主事 議題(3) 清原課長補佐</p> <p>【報告事項】 議題(1) 木村所長</p>									
内容	<p>1 開会 2 議題</p> <p>【審議事項】 (1) 委員長・副委員長の選出について (2) 公共施設再編成の第3期行動計画に係る進行管理について (3) 松葉小学校・長山小学校跡地活用について</p> <p>【報告事項】 (1) 出張所機能の強化について</p> <p>3 閉会</p>									
会議録署名人	田島委員、小高委員									
傍聴者の数	0名									
情報公開	公開				(龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例第 条第 号該当)					
	部分公開	非公開(一部非公開を含む)とする理由								
	非公開	公開が可能となる時期(可能な範囲で記入)			年 月 日					

事務局（生井）	<p>定刻となりましたので、ただいまより、令和7年度第1回龍ヶ崎市公共施設等マネジメント推進委員会を開会いたします。</p> <p>現在のところ、傍聴人はおりませんので、ご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、本日の会議は、委員の改選が行われてから初めての開催となりますので、事務局より委員の紹介をさせていただきます。お手持ちの委員名簿の順での紹介となりますことをご了承ください。</p> <p><委員紹介></p> <p>以上、本年度に委嘱させていただきました委員12名の皆さままでございます。よろしくお願いたします。</p> <p>次に、本委員会事務局のご紹介をさせていただきます。</p> <p><職員紹介></p> <p>最後に、私、管財課課長の生井です。よろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、会議の開催要件を報告いたします。</p> <p>本委員会は、委員会条例第7条第2項により、「会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない」と規定されております。本日は、委員12名のうち、9名に出席いただいておりますので、会議の開催定数に達していることを報告いたします。</p> <p>それでは会議に入ります。</p> <p>委員会条例第6条第2項により、委員長が議長を務めることとなっておりますが、本日は委嘱後はじめての会議となりますので、委員長、副委員長が選出されておられません。そのため、「議題1 委員長・副委員長の選出」につきましては、事務局を所管する総務部長の大貫に議事の進行をさせていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>
	<p><異議なし> ※大貫部長、議長席へ移動</p>
大貫部長	<p>それでは、委員長・副委員長の選出まで、議事を進行させていただきます。</p> <p>議事に入る前に、会議録の作成につきまして2点程申し上げます。</p> <p>1点目、会議録の氏名の記載についてです。会議録は会議の公開と同様、一般に公開することとなっております。会議録には、原則として発言者の氏名を記載するようになっておりますので、委員の皆さまには、あらかじめご了承くださいと思います。また、現委員の委員名簿を市のホームページに掲載させていただきますので、併せてご了承ください。</p> <p>2点目、会議録署名人の選出についてです。委員の中から、本日の会議録の署名人を2名選出するものですが、委員長が決まっておられませんので、今回は私から指名させていただきたいと思います。</p> <p>今回の会議録署名人には、田島委員と小高委員にお願いしたいと思います。</p> <p>お二方よろしいでしょうか。</p> <p><両名から承諾の発声></p> <p>お二方には、会議録がまとまり次第、内容をご確認の上、ご署名をお願いいたします。</p> <p>それでは「議題1 委員長・副委員長の選出」につきましては、本委員会条例第6条第1項の規定により、委員の互選によるものと定められております。どなたか自薦、他薦ございますでしょうか。</p>

小高委員	委員長に坂野委員、副委員長に鬼沢委員を推薦します。
大貫部長	<p>只今、小高委員から委員長に坂野委員、副委員長に鬼沢委員を推薦する旨の発言がございました。その他いかがでしょうか。</p> <p>無いようですので、坂野委員、委員長につきましていかがでしょうか。</p> <p><坂野委員 承諾の発声></p> <p>続きまして、鬼沢委員、副委員長につきましていかがでしょうか。</p> <p><鬼沢委員 承諾の発声></p> <p>それでは、委員長に坂野委員、副委員長に鬼沢委員を選任することで決定とさせていただきます。</p> <p>一旦、進行を事務局にお返しさせていただきます。</p>
事務局（生井）	それでは、本委員会条例第6条第2項におきまして、「委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる」と規定されておりますので、坂野委員長に議長を務めていただき、議事進行をお願いしたいと思います。坂野委員長、よろしくお願い致します。
坂野委員長	<p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>はじめに、「議題2 公共施設再編成の第3期行動計画に係る進行管理」についてです。事務局から説明をいただいた後に、委員の皆さまからご意見をいただきたいと思っております。</p>
	<別紙資料にて説明>
坂野委員長	事務局から説明がありました議事についてご質問等ございますでしょうか。
下野委員	資料の1ページですが、公営住宅等の現在面積が11,194㎡となっており、目標面積が1,251㎡となっております。これは公営住宅を無くしていき、面積を少なくしていくことが目標なのですか。
事務局（生井）	現在、市内には3つの市営住宅があり、合算でこの面積となっておりますが、公共施設再編成の観点から、管理する面積を減らしていく計画であります。公営住宅は市が建物を所有し、そこに入居していただくという考え方もありますが、民間の建物を借り上げて市から補助等を出すことで公営住宅としてのサービスを提供するという方法もございます。そのような方向へと転換することによって、市がストックして管理しなければならない建物を減らしつつ、公営住宅としてのサービスは停滞させないという方針に基づき、このような目標面積を定めているところです。
下野委員	残りの1,251㎡については、住んでいる方がいらっしゃるため、しばらく残しておくということですね。
事務局（生井）	はい。現在住んでいる方に対して退去を強制することはできません。
下野委員	湯ったり館が閉館することになり、清掃工場でゴミを燃やす際に出る排熱が有効利用できなくなってしまいますが、今後どのように利用していくのでしょうか。湯ったり館と豊作村は排熱の関係で相乗効果があると思うのですが、湯ったり館が廃止になったことで豊作村もゆくゆくは廃止するといったことなののでしょうか。
事務局（清原）	豊作村は農業に親しむ空間である一方で、ごみ処理場が隣接していることもあり還元施設としての一面も持ち合わせています。湯ったり館の今後については、具体的に事業をどのような形で進めるのかということは決まっていますが、昨年までの検討により温浴事業の継続は断念したということは決定しています。

大貫部長	排熱につきましては、大部分がごみ処理場の自家発電で活用しております。実は湯ったり館で利用していた排熱は、ごみ処理場の莫大な排熱のうちの一部ということになっておりましたので、現在でも排熱を有効活用しているところです。
下野委員	6 ページの中期目標ですが、「第1・第2 調理場は民間事業者による活用に向けて取組を行う」とありますが、どのような取組を行っているのかを教えてください。
事務局（清原）	中期目標については令和5年3月に第3期行動計画を定めており、その段階では民間事業者による活用も含めて検討するということではありましたが、市で定めている「公共施設跡地活用の基本方針」の流れとして、まずは市や県等で利用できるかを調査し、活用見込みがない場合は民間活用も視野に検討していくということになっております。庁内で活用意向を確認したところ、防災部署から第1調理場を改修して防災拠点倉庫として活用したい、教育総務課から第2調理場跡地を、隣接する龍ヶ崎西小学校の授業参観やイベント等での臨時駐車場として使用したいとの意向が確認できたため、このような活用に至ったところです。
下野委員	地域福祉会館は会議室などもあり、割と広い部屋もあるのでぜひ活用していただきたいのですが、ここは全部空いてしまうのですか。
事務局（清原）	地域福祉会館には、昨年度までは社会福祉協議会の事務所が入っていましたが、令和7年4月にこの保健福祉棟が完成したため、保健福祉棟1階に事務所が移転しました。現在は、ボランティア団体の活動場所として引き続き重宝されております。また、施設の有効活用の視点から、今後はシルバー人材センターの事務所が移転する予定です。
下野委員	以前は健康のために森林公園を散歩していたのですが、リニューアルしてからは緑の多い牛久自然観察の森を利用しています。森林公園は若者向けにフォレストアドベンチャーが改修しましたが、今後市としては若者向けに相手を変えたということでしょうか。
事務局（清原）	市の考えとしましては、公園は市民の憩いの場であり、フォレストアドベンチャーが事業運営を行うことになっても、若者世代だけではなく全世代が立ち寄れる場所であるということには変わりないと考えています。下野委員がおっしゃるように、トレイルやジップラインを取り入れて子供や家族向けのサービスを拡充したというのは事実でございます。また、日々の散歩で利用されていたとのことですが、森林の間伐を行い、以前と形は変わりましたが、明るく安全に歩けるような配慮をしております。民間事業者の知恵をいただきながら、手探りではありますが運営を行っているところです。
事務局（生井）	森林公園のリニューアルによって、有料で使うアスレチックも増えましたが、無料で利用できる散策ルートも残しております。以前とルートは変わりましたが、公園としての機能を残しつつ、全世代にご利用いただける空間となっています。
下野委員	公共施設の跡地活用について、大和ハウスはどのようなものを作る計画なのかをお聞きしたいのと、旧城南中学校に通っていた生徒が龍ヶ崎中学校にどのように通っているのかを教えてください。
事務局（清原）	旧城南中学校は、敷地面積が約30,000㎡、建物が約10,000㎡と大きな学校でございました。活用に至るまでには、民間事業者等に聞き取りを行い、その中で様々な活用案をいただきましてので、それであればプロポーザル方式により、お金と内容を評価して事業者を決定しようということで、審査の結果、大和ハウスを優先交渉権者に決めさせていただきました。事業の内容は、大和ハウスが建物を解体して

	<p>複合商業施設として再開発するというもので、令和9年秋頃のオープンを予定しています。</p> <p>龍ヶ崎中学校に関しては、城南中学校が閉校し、そのまま生徒の受け入れを行ったということではなく、外壁塗装や備品購入等の環境改善も合わせて行っています。通学時の安全確保については、PTA や統合準備会の中で協議・検討を行ったうえで龍ヶ崎中学校に統合した経緯がございますのでご安心ください。</p>
坂野委員長	旧城南中学校の活用は具体的にどのようなものなのですか。
事務局（清原）	<p>令和7年2月に開催した説明会における大和ハウスの説明によると、複合商業施設の中にはスーパー、具体的にはロピアが入ると伺っております。その隣の建物にはニトリが入ると伺っております。県道側にはボルダリング施設を併設したフィットネスジムということで伺っており、ボルダリングのまちを推進したい龍ヶ崎市の施策とも合致するところですので。その他のテナントについては、現在調整中とのことです。令和9年秋の開業に向けて、地域の皆様への事業説明や振動・騒音対策等について大和ハウスと連携・協議し、城南中学校の歴史を紡いでいきたいと考えております。</p>
坂野委員長	かつての卒業生がたくさんいるわけですが、このように、旧城南中学校跡地が龍ヶ崎市の活性化等につながるため、民間・市・市民がともに協働するスタイル、まさにガバナンスですね。他に何かご意見ご質問等ございますか。
小高委員	<p>学校給食センターの跡地活用ということで、この建物は耐震性の問題はないのですが、昨今の気候変動により雨の降り方が半端ではありません。特にこの周辺は割と低いところだと思うのですが、備蓄物を守るのに浸水対策はできているのでしょうか。2点目ですが、職業訓練校の今後の在り方について、なかなか移転先が決まらず苦勞をされているとの説明でしたが、今後の訓練校校舎の選定についてはどのように考えているのか、候補地はあるのかどうかを教えてください。最後ですが、公共施設の跡地活用検討ということで、今年度から大宮小学校が追加されています。細かいことですが、表記としては「大宮小学校」ではなく「旧大宮小学校」の方がよろしいのではないのでしょうか。</p>
事務局（清原）	<p>学校給食センターですが、こちらの立地は浸水想定区域外となっており、仮に河川等が氾濫した際でも浸水が及ばない地域となっております。ただし、小高委員ご指摘のとおり、低い土地に立地するというので、浸水のご懸念があるかとは思いますが、学校給食センターはプラットホームの関係で、フロアがGLから1.0m程度高くなっております。浸水想定区域外であることに加えて高床になっている点も加味して、防災備蓄倉庫として再活用するという運びとなったところです。続いて職業訓練共同施設につきましては、昨年度中に大宮小学校への移転を検討しましたが、都市計画法の整理や改修費の試算等により、移転は現実的ではないという結論に至りました。現在のところ、具体的な候補地はございません。職業訓練校は、昨年度は5人の方が利用していましたが、5人のためにどこまで公的経費を投資するのかという、効率性という観点もございます。具体的な回答はできず恐縮ではございますがご理解頂ければと思います。最後に、「公共施設の跡地活用検討」内、「大宮小学校」は「旧大宮小学校」の方が適切ではないかとの質問につきましては、おっしゃるとおりだと思いますので、訂正させていただきます。関連で申しますと、「次年度の取組に向けた課題」内、「佐貫中央駐輪場」も「旧佐貫中央駐輪場」という表</p>

	現が適当と思われまますので、併せて訂正させていただきます。
吉野委員	1点お尋ねしたいのですが、税金が今後どんどん減っていく状況下で我々市民も公共施設の再編によってどのくらいコストが下がるのか、関心を持つ市民も多いと思います。公共施設の再編成を行うことで次年度はいくら管理費が減ってくるという数字を出して頂けると非常に分かりやすいと感じております。
事務局（清原）	公共施設等総合管理計画という資料を委員の皆様にお配りさせて頂いております、その中で財源の試算についての記述がございます。具体的な数字につきましては時間の関係上省略した説明となりますが、公共施設を今後維持していくためには延床面積を30%削減しなければ難しいという試算があります。その中で「縮充」という考え方で、行政サービスの維持と延床面積の削減を両立するために、計画的かつ効率的に考えていきたいと思いますというのが公共施設等総合管理計画です。数値的に市民の皆さまにお示しした方が分かりやすいと思われまますので、隔年で開催する市民フォーラムでも財源不足について説明しておりますが、より市民が分かりやすい情報発信となるように努めてまいります。
坂野委員長	次回の会議で、前回のフォーラム資料を提示頂ければと思いますが、よろしいでしょうか。
事務局（清原）	大丈夫です。
鬼沢副委員長	進行管理終了後、その事業の効果がどうだったのかということが見えないため、事業の効果を検証した上で進行管理を終了するという形にまとめて頂けると分かりやすいと思いますのでよろしくお願ひします。
田島委員	地域福祉会館の今後の利用について、シルバー人材センターが地域福祉会館を使用することですが、それには当然改修経費がかかります。また、第一調理場跡地も防災拠点倉庫に転用する際にも改修を行っていると思うのですが、改修費はどのくらいかかっているのでしょうか。私が思うに、地域福祉会館にシルバー人材センターが入ることが固まっているのであれば、最初からやってしまった方が経費はかからず、引越し等もスムーズに行くのではないかと思いますのでどのようにお考えでしょうか。
事務局（清原）	地域福祉会館の例で申しますと、外壁・屋根、内装関係はかなり古くなっており、本来であれば大規模改修を行って20年30年と使う施設にするべきところではありますが、お金の部分が苦しいというところがあり、今回のシルバー人材センター移転に関しましても、事務室の内装や鍵の交換等、必要最低限の改修を行い、暫定で使えるような状態にする予定です。今後、地域福祉会館や第1調理場は、屋根や外壁等に手を入れなければいけない時期が差しかかる、もう過ぎていくところも認識としてはございますので、担当としては改修したい考えはありますが、市の財政状況全般の厳しいところもありますので、なかなか至らないというのが実情でございます。
田島委員	学校給食センターの進行管理シート内で「今回の用途変更は必要最小限の改修に留めたため」とありますが、その改修費用を教えてください。また、仮に大規模改修を行う際にはどのくらいの費用がかかるのでしょうか。1回改修しても大改修するのであれば無駄になってしまうと思います。将来の用途が定まっているなら、すぐにやってしまった方が良いのではないかと思います。
事務局（生井）	第1調理場に関しては、新しい給食センターができるまでは稼働していた施設と

	<p>なりますので、恒常的な点検や修繕等も行われておりましたので、抜本的に修繕しなければならないということではありませんでした。改修費用としては約 1,400 万円です。改修内容としては調理室の調理器具をすべて撤去したり、電気設備の容量を減らしたり、建築基準法上の用途変更に対応するために必要な工事等となります。建物に関してはそのまま使用するような形になりますので、今後、外壁や屋根などの維持保全を行う必要はあります。</p>
田島委員	<p>せっかく作った施設をまた壊して再整備するようなことがないように、将来のことを考えてやっていただければと思います。それとは別件となりますが、職業訓練共同施設について、令和 6 年度の生徒数が 5 人との説明がありました。5 人に対してどの程度の経費がかかっているのか。効率性ということもありますので、廃止や代替方策も含めて検討していくべきではないかと感じています。</p>
事務局（清原）	<p>職業訓練共同施設は、龍ヶ崎市単体で施設運営を実施しているわけではなく、広域運営となっています。龍ヶ崎市、取手市、牛久市、利根町、河内町の構成市町村が負担金を出し合い、また、茨城県から運営費の補助金をいただいて運営しており、その施設が龍ヶ崎に立地しているということでございます。5 人しかいないという状況ではございますが、県や構成市町村の考えもありますので、一概に廃止ということは難しい状況です。田島委員がおっしゃるように、効率性という点では課題があると認識しておりますので、職業訓練共同施設の今後のあり方については、所管であります商工観光課と引き続き検討してまいります。</p>
田島委員	<p>職業訓練共同施設の運営は県の仕事だと思うのですが、どのような経緯で龍ヶ崎市に置かれることになったのか、5 人の生徒 1 人当たりどれくらいの経費がかかっているのでしょうか。大変な金額だと思います。</p>
坂野委員長	<p>この場では補助金の額など、担当者がいないため、詳しい話はわからないと思いますので、次回よろしければ、職業訓練共同施設の経緯であるとか、法的な根拠を含めてお話し頂ければと思います。よろしいでしょうか。</p>
事務局（清原）	<p>了解しました。</p>
田島委員	<p>次回はいつ頃ですか。</p>
事務局（清原）	<p>年末頃を予定しております。</p>
坂野委員長	<p>それでは、質問がないようでしたら、「議題 2 公共施設再編成の第 3 期行動計画に係る進行管理」については以上とさせていただきます。つづきまして、「議題 3 松葉小学校・長山小学校跡地活用」についてとなります。事務局からの説明の後に、委員の皆さまからご意見をいただきたいと思います。</p>
	<p><別紙資料にて説明></p>
坂野委員長	<p>ありがとうございます。松葉・長山地区のような、非常に栄えていた小学校でも時代の流れにより学校の適正規模配置、簡単に言えば統廃合が進むということです。その原因としてはやはり少子化があります。ちょっと事務局の方にお聞きしたいのですが、龍ヶ崎市の合計特殊出生率と高齢化率を教えてくださいませんか。東京都が 1.29 という合計特殊出生率であります。一般的に人口を維持するためには 2.08～2.10 と言われているので、子供がすごく減少しているというのは非常に深刻です。子供の数が減るといことは高齢化率も自ずと上昇しますのでお聞きしたところでは。</p>

仲村次長	少し古いデータになりますが、龍ヶ崎人口ビジョンを作成したときのデータでは2018年までは1.3という数字で推移しており、2019年は1.12、2020年に1.05となり、同年の国や県と比べて低い水準で推移しています。高齢化率としては、令和7年7月時点で31.5%程度となります。
吉野委員	社会的流出も人口に大きな影響を及ぼすはずですが、龍ヶ崎市ではどのようになっていますか。
事務局（清原）	龍ヶ崎市人口ビジョンにおきましては、自然増減に加え社会増減も加味して作成しております。計画上では2050年には6万人を下回るような数字になる見込です。
吉野委員	流入より流出の方が多いのですか。
事務局（清原）	そうです。
坂野委員長	人口が流出したとしても維持できていればいいのですが、全国的な出生率などから考えると難しいです。このままいくと労働力人口はいなくなってしまう、働き手がいなくなるわけです。日本は外国人の活用は長らくしてきませんでした。もう考えていかななくてはならない深刻な状況になっています。龍ヶ崎市はそれほど多くないと思いますが、隣の利根町や取手市は外国人が非常に多くなっており、多文化共生をせざるを得ない状況になっているのが現実です。 河崎委員いかがでしょうか。
河崎委員	私は実家が松葉で、現在は長山在住です。松葉小学校の生徒数が多い時期に通っていたのですが、今は1クラスほどしかなく、統合することで生徒数が増えるのは子供たちにとって良いことだと思っています。松葉も長山も高齢者がとても多く、新しく建った家のところにだけ子供がおり、親世代が昔から住んでいた家は空き家となり、荒れている状況も多くなっています。住みたいけれど家が売りに出されていないために住めない方もいらっしゃると思います。不動産屋の話では、松葉・長山は人気があるとも言っていたので、空き家の管理を進めていけば若い世代も入ってくると思います。それと私自身のことにはなりますが、閉鎖になってしまった駅前の子供ステーションは、とても助かっていました。なかなか入れなくて、使いたいけれど使えない方もいらっしゃいましたし、働きに出ている方は幼稚園・保育園を18時半から19時まで迎えに行くことが難しいということもありますので、助かっていたと思います。学童も同様ですね。近隣地域が19時までというところが多いのに、なぜ龍ヶ崎市では18時半なのかという声も聞いております。最後に外国人についてですが、とても増えたと感じています。私自身、電車通勤をしているため、龍ヶ崎市駅をよく利用しますが、電車で市外から来ている方もいると思われそうですが、市内で見かけることも増えていますので、そのあたりも少し気になっていることです。
坂野委員長	事務局の方で担当課の方につないでいただけたらと思います。矢口委員いかがでしょうか。
矢口委員	私は人材派遣、不動産管理、民間での職業訓練校をやっており、本日の会議内容はとても身近に感じています。龍ヶ崎市は今外国人が多いです。私が管理するアパートでも住んでいる方が多いです。先ほども外国人女性の方から仕事を紹介してほしいとの電話がかかってきたりしています。私は日頃から外国人の方と交流がありますが、一般の方からするとやはり外国人の方は怖いと感じるのではないかと思います。

坂野委員長	今後、矢口委員には龍ヶ崎市のためにマッチングということもお願いしたいと思 います。その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。それでは「議題3 松葉 小学校・長山小学校跡地活用」は以上とさせていただきます。つづきまして、「報告 1 出張所の機能について」所管課の西部出張所より説明をお願いします。
	<別紙資料により説明>
坂野委員長	ご説明ありがとうございました。ご意見ご質問等はございますでしょうか。
田島委員	統合するのは良いのですが、市民窓口ステーションを設置した初期の目的は利便 性向上だったのではないのでしょうか。既に東部出張所と西部出張所がありながら新 たに設置したものですから。人口減少と高齢化の進展により、受付件数が減ってい くのは目に見えていたと思います。これから住民説明に入ると思うのですが、どう していまさらなのか。西部に住んでいる人にとっては利便性が向上しませんよね。 そういう部分に対する説明がいまいち行政側の都合が良いのではないかという感じ がします。これは感想ですよ。
下野委員	統合することによって何か取り扱い業務が増えるということはあるのでしょ うか。また、西部出張所を閉鎖することで職員数の削減ができると思うのですが、市 民窓口ステーションもある程度の増員はしなくてはならないと思います。人件費の 節約はできるのでしょうか。
持田課長	新たに統合して増える業務というものは特にはございません。基本的に正職員は 削減することは考えておらず、2名の会計年度職員については削減するというこ とで考えています。
鈴木委員	西部出張所の利用者が市民窓口ステーションに流れると、職員数も増えると思 うのですが、現在のキャパシティと比べて何か問題はございますでしょうか。
持田課長	待合席の設置や番号札の機械設置など整備されてない部分がありますので、お客 様の増加に合わせた対応考えております。今後お客様が増えることが見込まれます ので、フロアマネージャーのような案内人を立たせることも想定しております。
河崎委員	市民窓口ステーションは今の広さのまま職員の方が増える形になりますか。
持田課長	はい、そうです。
河崎委員	書類を記入する台が右側にちょっとしかないので、いらっしゃる方が増えると、 対応が難しくなると思い確認させていただきました。
坂野委員長	その他ございますでしょうか。それでは時間となりましたので、こちらの件につ いては以上とさせていただきます。ありがとうございました。
事務局（生井）	坂野委員長、議事の進行ありがとうございました。議事以外で皆さまからご意見 ご質問はありますか。最後に事務局から連絡事項を申し上げます。
事務局（清原）	1点目は今後の会議予定についてです。予定としましては年末の11月か12月頃 に第2回の会議を予定しております。1ヶ月前を目安に会議の開催通知をさせてい ただきたいと思ひます。2点目は本日の委員報酬についてです。2週間ほどで指定 の口座にお振り込みいたしますのでご確認ください。以上となります。

令和7年度第1回龍ヶ崎市公共施設等マネジメント推進委員会会議録について、上記のとおり相違ないことを確認しました。

令和 年 月 日

委 員 長

会議録署名人

会議録署名人
